

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	全国老人クラブ連合会助成費補助金		担当部局庁	老健局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和42年度		担当課室	振興課		振興課長 朝川 知昭		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅸ-3-1 高齢者の介護予防・健康づくりを推進し、生きがいつくり及び社会参加を推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	老人福祉法第13条		関係する計画、通知等	全国老人クラブ連合会助成費の国庫補助について (平成23年3月18日厚生労働省発0318第2号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、高齢者を主体とする健康保持と相互の生活支援という観点から、その活動や役割が今後、益々期待されていることから、全国老人クラブ連合会が当該事業を実施し、単位老人クラブ、市区町村老人クラブ連合会及び都道府県・指定都市老人クラブ連合会が行う活動の連携やより一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各地域の老人クラブの活動を支援するため、都道府県・指定都市老連のリーダーや老人クラブ活動推進員、郡市区町村老連及び単位老人クラブリーダーの資質向上を目的とする研修会の開催、単位老人クラブの育成指導並びに都道府県・指定都市及び郡市区町村老連の行う活動の指導、都道府県・指定都市老連の組織・活動に関する実態調査に必要な経費を対象として助成する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	9	9	9	9	9	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	9	9	9	9	9		
	執行額	9	9	9				
執行率(%)	100	100	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	老人クラブリーダー等養成者数 (中央研修及びブロック研修)			人	2,271	2,187	2,224	2,200
			達成度		-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	老人クラブリーダー等養成研修実施回数			回	11 (11)	11 (11)	12 (12)	- (12)
単位当たりコスト	641(円/人)		算出根拠	平成24年度老人クラブ指導者養成事業費(実績額) 1,424,868円 /平成24年度老人クラブリーダー等養成者数 2,224人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	補助金	9	9	-				
	計	9	9					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	全国老人クラブ連合会が当該事業を実施することにより、老人クラブ等が行う活動における連携やその一層の活性化が図られるため、国費を投入し、その目的を達成すべきである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	都道府県・指定都市老連のリーダー等に対する研修等であることから、国で実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	高齢者の生きがいや健康づくりの推進に資するものであることから、優先度が高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	当該団体は老人クラブの全国団体であることから、支出先として妥当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	平成22年度予算において、対前年度2割の削減を行っており、その後も効率的な執行に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	入力・集計業務といった、単純業務を外部の会社に発注しているもの。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業開始前に事業計画において事業内容、経費の支出予定などを確認し、交付決定を行っている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに沿っている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	研修の養成者は、全国の老人クラブのリーダー等として活動している。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・平成22年度予算において、対前年度2割の削減を行ったところである。</p> <p>・事業開始前に事業計画において事業内容、経費の支出予定などを確認し、交付決定を行っており、国庫補助金の精算に当たっては、実績報告書(研修会の開催状況、内容、頻度、規模等)及び国庫補助金の使途の明細を(財)全国老人クラブ連合会から提出させ、事業実施状況、支出内容・額などについて確認している。</p> <p>・また、24年度の活動実績を見ると、当初の見込み通り活動実績を挙げているため、今後も予算の執行状況を踏まえつつ、適正な執行及び予算額の確保を図っていく。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業については、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	531	平成23年	483	平成24年	426

【平成24年度実績】

厚生労働省
9百万円

補助

A. 全国老人クラブ連合会
13百万円

随意契約

B. ナガイシステムサービス
0.2百万円

実態調査に係る入力・集計業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.全国老人クラブ連合会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
給与等	老人クラブ活動推進員設置に係る費用	7.1			
印刷製本費	中央セミナー、推進担当者セミナー資料 等	3.6			
旅費	中央セミナー講師旅費、交通費 等	1.0			
借料及び損料	中央セミナー会場費、ブロック研修会場費 等	0.4			
通信運搬費	ブロック研修資料送料 等	0.4			
雑役務費	実態調査に係る費用 等	0.3			
計		13	計		0
B.ナガイシステムサービス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	実態調査に係る入力・集計業務	0.2			
計		0.2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国老人クラブ連合会	各地域の老人クラブ活動支援のための老人クラブ指導者に対する研修等	9		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ナガイシステムサービス	実態調査に係る入力・集計業務	0.2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					